

画像診断医

ドクターD Vol.6

DR. DIAGNOSIS



放射線科 主任部長

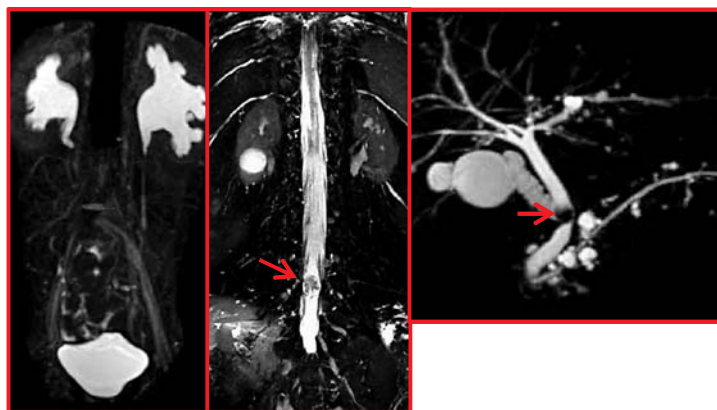
もり ひろき
森 浩希

前は「MRI は水の状態を反映した画像」という話をしました。水分子を構成する水素原子の状態を捉えるのが MRI の役割ですが、体内で最もありふれた存在である水を利用して画像を作成することは理にかなっています。

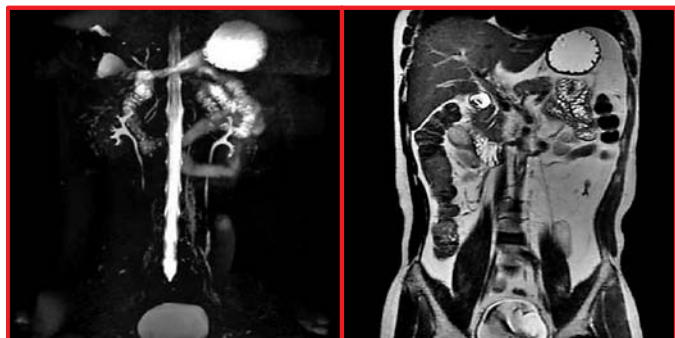
一般的に人体の約60%は水で構成されているといわれています。体重 50kg であれば、約 30kg 分が水で占められていることとなります。水 30kg の内訳は細胞内に 20kg、細胞外に 10kg とされており、さらに細胞外液は血漿の 2.5kg、間質液の 7.5kg からなっています。細胞内の水は MRI では単独の水信号としては描出されませんが、組織の信号強度、つまり画像上の色を決める要素となります。血漿を含む血液は常に流れて動いているため、通常の撮影では flow void (=信号の消失)として無信号となります。間質液の大部分も臓器組織に含まれているため描出することは難しいですが、その一部はいわゆる自由水として存在しています。MRI で単独の水として描出できるのはこの自由水にあたります。

提示画像は腹部全体を水強調 T2 画像で撮影したものです(水以外の構造物は右の通常の T2 強調像と対比してみてください)。人体にはいろいろな形態で自由水が存在することがよくわかります。胃や小腸内の摂食物や腸液、尿管や膀胱内の尿、胆嚢や胆道系の胆汁、膵管内の膵液、脊柱管腔の脳脊髄液が白い陰影として映っています。これらは体内の水のほんの一部ですが、画像化できることでこれだけでも病気の診断に大いに役立っています。

MRI が実用化される以前には、これらの水を描出するためには造影検査が必要でした。もちろん今でも造影検査は頻用されていますが、MRI は非侵襲的なスクリーニング検査として重宝されています。尿路の閉塞部位を調べる MR ウログラフィー、脊髄腔の観察に MR ミエログラフィー、胆膵の精査に欠かせない MRCP などです。



左 : MR ウログラフィー(両側水腎症)
中央 : MR ミエログラフィー(矢印 : 神経鞘腫)
右 : MRCP(膵管内乳頭粘液性腫瘍、総胆管結石(矢印))



左 : 水強調 T2 冠状断像 右 : T2 強調冠状断像
(正常腹部の同一部位)

蛇足ですが、体内の水分量を調べるにはわざわざ MRI を使って画像化する必要はありません。最近の体重計は体脂肪率とともに体水分率も簡単に測れるようになっています。ちなみにこれは微弱な電気を使用した生体電気インピーダンス法といわれる方法で測っているようで、これに関する学術論文も多数検索することができます。

第2回 多職種連携 推進研修会



平成26年1月30日(木)、「第2回 多職種連携推進研修会」を開催しました。この研修会では、地域の医療関係者、介護関係者の方にお集まりいただき、当院のスタッフと共に、退院支援の際に発生する、課題や問題の解決に向けた試みを報告・検討を行いました。今回で第2回目となり、尾道、三原、福山方面から76名もの方々に来ていただき、当院スタッフを含めると111名の方にご参加いただきました。

講演

H26年1月30日 多職種連携推進研修会

やたらと多い誤嚥性肺炎

JA尾道総合病院 呼吸器内科
上野沙弥香

近年、死亡率の増加傾向にある肺炎。そして、その中でも高齢者に多い、誤嚥性肺炎について、当院、呼吸器内科の上野医師より講演をしていただきました。

肺炎予防について、沢山の写真を交えながら、とても分かりやすくお話いただき、参加者の方々からも、分かりやすく、大変良かったというお言葉をいただきました。

報告

平成25年度 第2回多職種連携推進研修会

尾道総合病院における 退院支援の取り組み

～看護科退院支援委員会の活動から～

看護科退院支援委員会 委員長
西田 朋美

当院には、看護科退院支援委員会を設置し、入院時より退院後の生活に焦点を当て、患者さんが安心して退院が出来るよう、院内のみならず、院外との連携にも力を入れ、退院支援を行っております。

今回の研修会では、当院の退院支援の現状と取り組みについて報告を行い、今後の連携強化へとつなぐことが出来ればと思っております。

グループワーク

～伝え合おう！！ 私たちの医療と介護！～

上記をテーマに、10グループに分かれ、入院時、入院中、退院時の情報提供の現状と課題について話し合いました。

グループ構成としては、医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士から、ケアマネージャー、介護福祉士、福祉用具貸与事業者など、沢山の職種からなっております。どのグループも多く意見が出ており、とても充実したグループワークになりました。



グループワークでは、とても沢山のご意見を頂きました。その中で、当院に対する、ご意見やご質問をいくつか頂きましたので、この場をお借りしまして、お答えさせて頂ければと思います。

また、グループワークで頂いた意見につきましては、院内で検討し、今後の連携強化の参考にさせていただきます。

Q 入院時の情報提供書の様式は決まっているのか？

A 特に決まった様式はありません。各医療機関・事業所等でご利用されている様式で構いません。

Q 情報提供書を持参させてもらっても、誰に声をかけたらよいのか分からない。

A 医療福祉支援センターへお越しただければ、書類等お預かりさせていただきます。お預かりしました情報は、電子カルテに取り込み、院内で情報共有させていただきます。

Q 訪問のタイミングが分からない。いつ患者と面会できるのか？

A 面会時間は原則、平日 15:00～20:00、休日 13:00～20:00となっておりますが、ケアマネージャー等の面会時間の決まりは特にございません。しかし、面会される際には、病棟に上がられる前に、一度、1階正面玄関奥の医療福祉支援センターにお立ち寄り下さい。

Q 病棟に行くと、看護師は中央のパソコンに向かっていて声をかけづらい。

A 電子カルテや申し送りに集中しており、気づけていないことがあります。今後は、周囲にアンテナを張り、来訪者に関わっていくよう心がけます。しかし、どうしても気づけない場合があるかと思えます。その際は、お気軽にお声かけ下さい。

Q 頂いた情報が分かりにくい場合や、もう少し詳しく聞きたい場合など、どこに問い合わせればよいですか？

A お渡しした情報提供でご不明な点等ございましたら、医療福祉支援センターへお問い合わせ下さい。医療福祉支援センターが窓口となり、院内で情報確認を行わせて頂きます。

Q 患者さんが入院された際に、ケアマネージャーに連絡をしてもらっていませんが、どういった経過で入院され、また現在の状態教えてくださいませんか？

A 当院では、患者さまが入院された時と退院された時に、病棟より担当ケアマネージャーに電話連絡をさせて頂いております。しかし、個人情報の関係もあり、入退院のご報告のみにさせて頂いております。入院の経過や現在の状況等、詳しい情報をお求めであれば、是非、当院までお越しください。情報提供をさせていただきます。

また、退院時の連絡については、どうしても退院後の連絡になってしまう場合もございます。今後は、なるべく早めのご連絡を心掛けてまいりますので、よろしく願いいたします。

■ 多職種連携推進研修会を終えて・・・

今回で、第2回目の開催となり、多くの医療機関、事業所から沢山の多職種の方々に来ていただきました。グループワークでは、普段なかなか話すことが出来ない、医療・介護の連携について協議し、今回設けた時間では足りないくらい、白熱した本音トークが繰り広げられました。

参加者に実施したアンケートでは、「次回も参加したい」「大変、有意義な時間だった」といった、有りがたいお言葉もいただくことが出来、当院としても、次回開催に向け、一層、地域の医療機関、介護事業所等との連携を深めていかなければと感じる研修会でした。



尾道総合病院からのご案内

内視鏡検査又は治療の患者様を ご紹介頂く際のお願い

患者様が鎮静剤を希望され使用した場合、検査終了後、半日程度眠気、フラフラ感が続く場合があります。患者様をご紹介頂く際には、以下の点を守っていただくようお願い下さい。

●検査当日は車、バイク、自転車の 運転はしないでください。

もし、ご自分で運転されて来院の場合、鎮静剤の使用はできませんのでご了承ください。

CT・MRI等の受診予約方法

CT・MRI等の予約は、電話で受け付けております。放射線予約センターへお問い合わせください。



0848-22-8111 (代表)

放射線予約センター

CT / MRI 予約 ➡ (内線 7180・2118)
RI/脳血流 SPECT 予約 ➡ (内線 7178)

★当院、放射線科専門医の読影所見を付けてお返しします。



ふれあいサロン

日時：第2・4火曜日 13:00～14:30
場所：1階 会議室（医療福祉支援センター奥）

平成26年3月11日

緩和ケアのお話し ～緩和ケア認定看護師と話そう～

日常生活での困りごと、不安なことなど何でもご相談下さい。



平成26年3月25日

音楽療法

懐かしい音楽や季節を感じられる音楽を、聴いて歌って、ゆっくりとした時間を過ごします。



心臓いきいき教室

日時：第2火曜日 15:00～15:30
場所：心臓リハビリテーション教室

平成26年3月20日

心臓病と社会制度 担当：社会福祉士



すいがん教室

日時：第1・3火曜日 15:00～16:00
場所：1階 会議室（医療福祉支援センター奥）

平成26年3月18日

緩和ケアと痛みについて 担当：緩和ケアチーム看護師/薬剤師

地域医療連携実績 平成26年1月

紹介実績		共同利用実績			
紹介率	86.5%	CT	38	RI	3
逆紹介率	79.6%	MRI	20	内視鏡	23

診療科	紹介数	逆紹介数	診療科	紹介数	逆紹介数	診療科	紹介数	逆紹介数
内科	279	335	脳神経外科	46	57	眼科	52	75
精神科・神経科	1	2	心臓血管外科	20	56	耳鼻咽喉科	69	57
循環器科	60	114	小児外科	5	5	放射線科	61	60
小児科	35	25	皮膚科	48	59	麻酔科	1	0
外科	80	74	泌尿器科	51	62	総合診療科	39	7
整形外科	118	55	産婦人科	73	47	歯科口腔外科	86	39